

イベント開催の報告

NSF 2014 in Kansai

JNSA西日本支部では、西日本地域の情報セキュリティレベルの向上を目的としたNSF 2014 in Kansaiを下記の要領で開催しました。

日 時：2014年2月21日（金） 13時30分～17時30分
会 場：貸会議室 TOG
主 催：NPO日本ネットワークセキュリティ協会 西日本支部
定 員：120名
概 要：「世界標準が変わった！ あなたの会社のセキュリティ対策を見直そう」
料 金：無料

国際規格であるISO/IEC27001及びISO/IEC27002 (ISMS) が2013年10月に規格改版されたことにより、ISMS認証規格を取得または準用している企業には、規格の変更によって自社の情報セキュリティ対策を見直す良いきっかけになると思われま

す。また、ISMSの認証規格を取得されていない企業についても、新しいビジネス環境・システム環境に対応するうえで、情報セキュリティ対策をどこから進めて、どのように対策をしたらよいかについて、改めて検討を促す動機づけになることが期待できます。

そこで、JNSA西日本支部が長年に亘り開発してきました情報セキュリティ対策ツールの活用を併せて紹介し、自社のセキュリティ対策を見直し、有効活用していただくことを目的として開催しました。



■ 開会挨拶

近畿経済産業局地域経済部 情報政策課 山口洋課長より、IT の利用促進とセキュリティ対策の必要性についての啓発を平成 25 年度は「モノづくりセミナー」と言うタイトルで JNSA 西日本支部と協力しながら東大阪市、大阪市、福井市で開催し、次回は和歌山市を計画していると紹介され、今後ますます JNSA との連携の度合を強めながら、地域への啓発活動を行っていきたいとお話をいただきました。

続いて西日本支部の井上支部長より本セミナーの位置づけと、JNSA および西日本支部の活動状況の紹介がありました。

■ 基調講演

KDDI 株式会社 情報セキュリティフェロー／独立行政法人情報通信研究機構（NICT）主管研究員中尾康二氏より「ISO/IEC27001&27002 の改版の概要と関連する最新情報」と題して、その概要及び以前の 2005 年版の規格との差異など、具体的な最新情報について解説いただきました。

冒頭では、新規格への移行期間は 2013 年 10 月から 2 年以内に移行完了が必要であること、変更内容の要点としては、経営陣の責任範囲がより明確になり、リーダーシップとして関与する必要があること、また ISO31000（リスクマネジメントー原則及び指針）との整合性が取られ、リスクアセスメントの実施方法も、「情報資産の脅威とぜい弱性の視点からリスクを考える」から、「企業活動に貢献するための情報セキュリティ視点からリスクを考える」に改められ、より具体的な対策を考えることが求められるようになると解説いただきました。

後半では、管理策について、多くの管理策は 2005 年版の管理策を継承しているが、2005 年以後

の新しい動向や概念も取り入れられていると、箇条ごとに説明を加えながら、要点をまとめて説明いただき、最新の情報セキュリティマネジメントシステムへの取り組み方法の理解につながったと感じました。

■ JNSA 西日本支部会員企業のご紹介

会員企業 6 社が情報セキュリティ対策の活用に役立つ“自社いちおし”の製品・サービスを紹介しました。

■ 中小企業が知って得する「情報セキュリティ対策支援ツール」活用方法の解説

業務に潜む情報セキュリティリスクを認識。チェックリストを活用して情報セキュリティ対策の Plan を点検・診断し、リスク度に応じた適切な対策を行うまでの流れを解説していただきました。

■ 「出社してから退社するまで中小企業の情報セキュリティ対策実践手引き」の活用方法

出社してから退社するまでリスク対策 WG リーダーのアイネット・システムズ株式会社 元持哲朗氏から、情報セキュリティは中小企業にこそ必要と題して、情報資産を洗い出すこと無く、出社してから退社するまでの様々な業務場面を想定した業務に潜む情報セキュリティリスクを認識でき、具体的なリスク対策を行うことができるツールとしての実践手引き活用方法を解説していただきました。

なお、追補版については 2014 年 4 月 1 日に公開を予定しています。

■「中小企業向け情報セキュリティチェックシート」で現状把握の解説

情報セキュリティチェックシート WG リーダーの富士通関西中部ネットテック株式会社 嶋倉文裕氏から、「入社してから退社するまで中小企業の情報セキュリティ対策実践手引き」で認識した業務に潜む情報セキュリティリスクを参考に、現状における対策レベルを確認し、リスク度に応じた適切な対策を行うためのツールとしての「中小企業向け情報セキュリティチェックシート」の活用方法及び「JNSA ソリューションガイド」との紐付けについて解説していただきました。

■「JNSA ソリューションガイド」を利用した具体的対策の解説

トレンドマイクロ株式会社 小屋晋吾氏から、「入社してから退社するまで中小企業の情報セキュリティ対策実践手引き」・「中小企業向け情報セキュリティチェックシート」で現状把握した結果から、具体的にどのような対策があるかを考えるツールとして、「JNSA ソリューションガイド」の検索方法について事例紹介を混じえながら対策で悩またくない！これだけは対策したい！の必携ガイドとしての「JNSA ソリューションガイド」活用方法を紹介していただきました。

また、個人のスキルアップや社内教育等での理解度チェックツールとしての個人ユーザ向けの「理解度セルフチェックサイト」、管理者機能付きの「情報セキュリティ理解度チェック」並びに有償版「情報セキュリティ理解度チェック・プレミアム」サイトが紹介されました。

■各ツール利用方法のまとめ

本セミナーの締めくくりとして、本日の講師を務めていただいた中尾氏、元持氏、嶋倉氏、小屋氏からそれぞれ全体を通して総括をしていただきました。

■NSF2014 in Kansai を終えて

当日は70名の方にご参加いただきました。

アンケートではセミナーに参加した感想として回答者の90%が「大変有益だった、有益だった」と回答しており、情報セキュリティセミナーとしては成功したと思います。各セッションでの「大変有益だった」「有益だった」の割合は、基調講演が93%、中小企業が知って得する「情報セキュリティ対策支援ツール」活用方法の解説が88%でした。JNSA 西日本支部会員企業のご紹介では「大変有益だった、有益だった」が58%となっていました。これは、今回のセッションとの連携が明確になっていないことが考えられますので、次年度以降の改善の検討に繋がりたいと思います。

今年度も企業ブースを設置しパンフレット等の案内と、西日本支部メンバーによるソリューションマップを配布しました。

これからもより多くの方に参加していただける機会を作り、西日本のセキュリティレベル向上のため、JNSA 西日本支部としてセミナー・勉強会を継続していきますのでご期待ください。